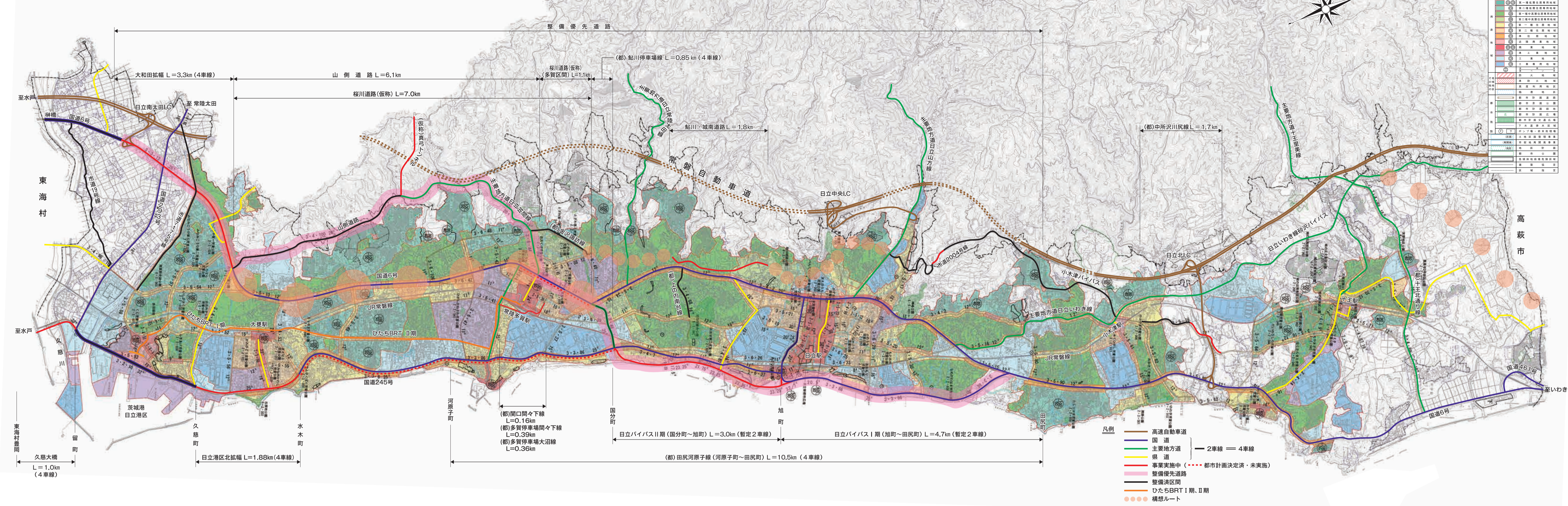


日立市の幹線道路ネットワーク図



国道6号日立バイパスの見直し経緯

- 昭和59年 8月 都市計画決定(延長10.4km)
- 平成19年10月 日立道路再検討プロジェクト開始

日立道路再検討プロジェクトとは

日立道路検討会(国土交通省・茨城県・日立市で構成)は、20年以上未着手の都市計画道路のうち、日立バイパスを主体とした3路線について、近年の社会情勢の変化を踏まえて、そのあり方や概ねのルートの再検討を進めてきました。検討にあたっては、市民に情報を提供するとともに、ご意見を伺いながら、それらを計画に反映させるパブリック・インボルブメント(P・I)を導入して進めてきました。



日立道路再検討プロジェクトでは、次の3路線の検討を進めてきました。

- 日立バイパス(旭町～河原子町間)
- 大宮南降川線(けやき通りより西側)
- 鮎川停車場線(国道245号より東側)



ワークショップの様子



広報紙

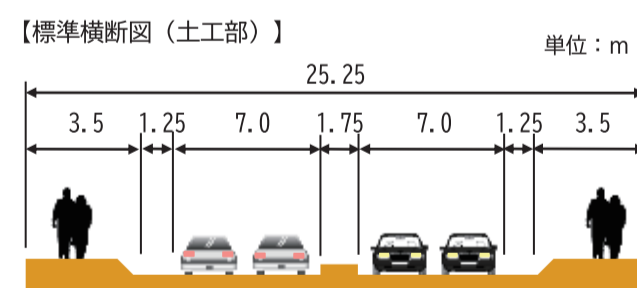
*P・I(パブリック・インボルブメント)とは、道路の計画づくりなどを進める際に、検討の進め方、検討の内容などの情報をお知らせするとともに、地域にお住まいの方やユーザーのみなさんにご意見を伺いながら、それらを計画づくりに反映させていく仕組みのことです。

- 平成22年11月 概略計画案確定(日立道路再検討プロジェクト終了)
- 平成23年 1月 概略計画決定(鮎川停車場線付近で国道245号に接続する案)
- 平成23年 7月 都市計画変更原案における地元説明会の開催
- 平成23年 8月 公聴会の開催
- 平成23年10月 都市計画変更案の公告・縦覧の実施
- 平成23年11月 日立市都市計画審議会の開催
- 平成23年12月 茨城県都市計画審議会の開催
- 平成24年 1月 都市計画決定(変更)告示(延長10.5km)

ネットワークを形成する主要な幹線道路(国道6号)

国道6号大和田拡幅

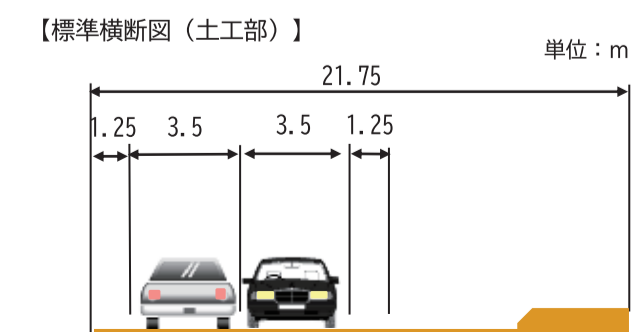
国道6号大和田拡幅は、日立市の整備優先道路に位置付けられており、日立市の南北軸を形成する主要な幹線道路です。茨城県と日立市が整備を進め、平成24年度に完成した山側道路の大名町6丁目交差点から常磐自動車道日立南太田IC間の延長3.3kmについて現道拡幅事業として平成18年から4車線で整備を進めています。渋滞緩和による利便性、安全性の向上はもとより、茨城県日立港区や周辺の工場と常磐自動車道日立南太田ICのアクセス性を向上させ、物流の定時制向上により物流機能が強化され、企業の国際競争力が向上し、地域産業の発展が期待されることから早期完成が求められています。



【大和田町付近】

国道6号日立バイパスⅡ期

国道6号日立バイパスⅡ期は、日立市の整備優先道路に位置付けられており、日立市の南北軸を形成する主要な幹線道路です。田尻町から旭町間の延長4.7kmが暫定2車線で供用されています。旭町から河原子町間の延長5.7km(変更前)については、平成19年から市民参画(パブリック・インボルブメント)による都市計画の検討結果を踏まえ、平成24年に一部ルートを変更する都市計画変更を行い、旭町から国分町間の延長3.0kmについて日立バイパスⅡ期事業として平成24年から暫定2車線で整備を進めています。市街地の渋滞緩和による利便性、安全性の向上はもとより、市内に立地する工場を連絡しサプライチェーンが強化され、企業の国際競争力が向上し、地域産業の発展が期待されます。

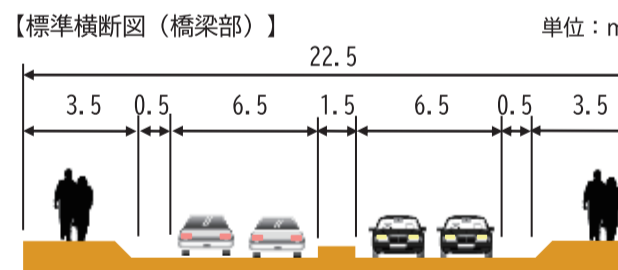


【旭町付近(日立バイパスⅠ期)】

ネットワークを形成する主要な幹線道路(国道・県道)

国道245号 久慈大橋

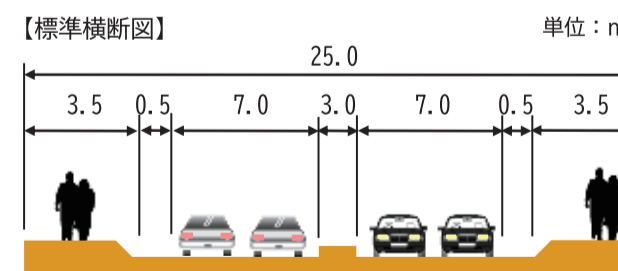
国道245号久慈大橋は、日立市海側の南北軸を形成する主要な幹線道路です。東海村豊岡から日立市留間間の延長1.0kmについて令和元年に事業化し、令和4年に一部ルートを変更する都市計画変更を行い、整備を進めています。渋滞緩和による利便性、安全性の向上はもとより、物流ネットワークの強化が期待されます。



【留町付近】

国道245号 日立港区北拡幅

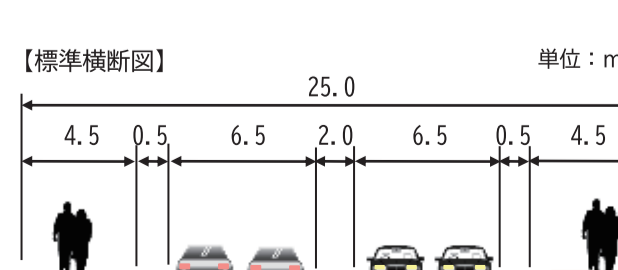
国道245号日立港区北拡幅は、日立市海側の南北軸を形成する主要な幹線道路です。久慈町から水木町間の延長1.88kmについて平成27年から4車線で整備を進めています。渋滞緩和による利便性、安全性の向上はもとより、茨城県日立港区へのアクセス性が向上し、物流機能の強化が期待されます。



【大名町付近】

都市計画道路 鮎川停車場線(主要地方道 日正常陸太田線)

鮎川停車場線は、日立市の整備優先道路に位置付けられており、日立市の南北軸を形成する主要な幹線道路です。国道6号諏訪五差路交差点から日立バイパスⅡ期間の延長0.85kmについて平成14年から4車線で整備を進めており、令和5年5月に暫定供用を開始しました。市街地の渋滞緩和による利便性、安全性の向上はもとより、地域経済の好循環が期待されます。



都市計画決定	平成24年1月16日
延長	0.85km
幅員	25m(4車線)
区分	第4種第1級
設計速度	60km/h

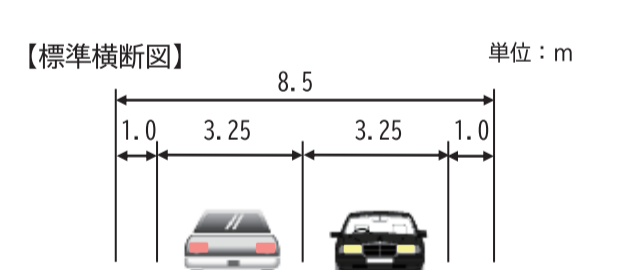


【国分町付近】

ネットワークを形成する主要な幹線道路(市道)

(仮称)真弓トンネル(日立市道6750号線・常陸太田市道0139号線)

(仮称)真弓トンネルは、日立市と常陸太田市の両市の事業として整備を進めています。日立市多賀地区と常陸太田市中心部を連絡し東西軸を形成する主要な幹線道路です。日立市金沢町から常陸太田市碓氷町の延長5.5kmについて平成30年から2車線で整備を進めています。利便性、安全性の向上はもとより、災害時の避難道路として期待されます。



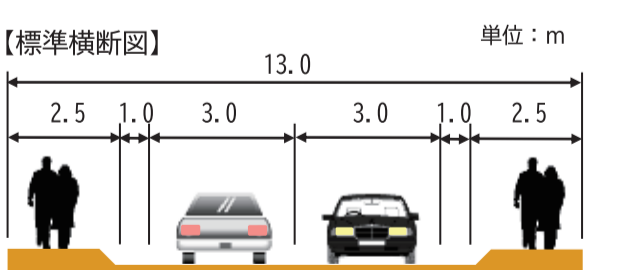
都市計画決定	—
延長	5.5km
幅員	8.5m(2車線)
区分	第3種第2級
設計速度	60km/h



【イメージ図】

鮎川・城南道路(市道3974号線)

鮎川・城南道路は、日立市山側の南北軸を形成する(通称)山の手ルートの一部となる主要な幹線道路です。西成沢町から城南町間の延長1.8kmについて令和元年から2車線で整備を進めています。並走している国道6号の渋滞緩和を図り、利便性、安全性の向上はもとより、山側住宅団地の活性化、災害時の避難道路として期待されます。



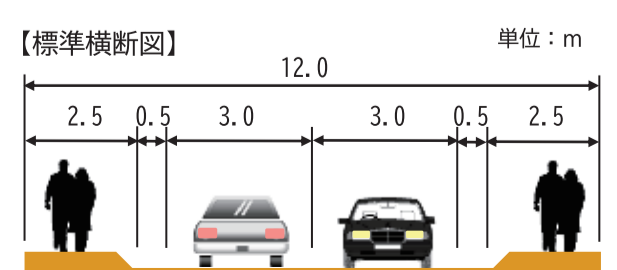
都市計画決定	—
延長	1.8km
幅員	13m(2車線)
区分	第4種第2級
設計速度	40km/h



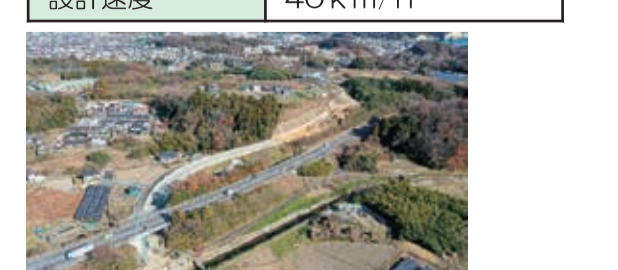
【イメージ図】

都市計画道路 中所属川尻線(市道640号線)

中所属川尻線は、日立市北部の南北軸を形成する主要な幹線道路です。小水津町から折笠町間の延長1.7kmについて平成13年から2車線で整備を進めています。豊浦地区や十王地区と市中心部を連絡することにより、国道6号や主要地方道日立いわき線の渋滞緩和を図り、利便性、安全性の向上はもとより、災害時の避難道路として期待されます。



都市計画決定	平成20年6月23日
延長	1.7km
幅員	12m(2車線)
区分	第4種第2級
設計速度	40km/h



【小水津町付近】